

「忘れることに備える（備忘）」講演会

「認知症と言わせて…」～当事者、家族が生活を語る～

増加を続ける認知症。近い将来、65歳以上の5人に1人が「認知症」になるといわれています。住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、認知症を正しく理解し予防すること、また、自分や家族、身近な人が、認知症になった時の対応や関わり方について学ぶ講演会を開催します。忘れることに備える（備忘）ために皆さんと一緒に考えてみましょう。この機会に認知症を正しく学びませんか。

認知症の人やその家族、地域の人たちが気軽に集まれる「つどいの場」

「認知症カフェ」に参加しませんか？

平成29年4月から、市内2カ所に認知症カフェを開いています。カフェを運営しているのは、認知症サポーター養成講座を受講し、地域で活動する「おれんじの会」の皆さんです。

毎月とても楽しくて、居心地の良い「温かいカフェ」です。利用を希望する人や認知症のこととを相談してみたい人は、下記までお申し込みください。

認知症カフェは

○認知症のことを「知りたいな」と思う人の集い
○認知症の人やその家族が「ほっと」できる集い
○誰もが自由に集える場 を目指しています。



おれんじカフェ

日 時 每月第3水曜日
(変更する場合があります)
午前9時30分～午前11時
(受付 午前9時～)
場 所 大野原いきいきセンター1階
参 加 費 100円



文化展に出展する
作品づくり

ふる里サロン

日 時 每月第1日曜日
(変更する場合があります)
午前10時～午前11時30分
(受付 午前9時30分～)
場 所 萩のふるさと会館(大野原町萩原)
参 加 費 100円



皆さんと一緒に
過ごす温かい時間が
とてもいいですよ



申し込み・問い合わせ先 観音寺市地域包括支援センター ☎25-7791

元気印のかんおんじ21 第2次ヘルスプランの推進 健康増進計画・食育推進計画

生活習慣病予防グループ

健康増進課☎23-3964

生活習慣病予防グループは、平成28・29年度にかけて「これからの自分・家族の姿をイメージしよう」をテーマに、10団体(205人)に「2025年問題」についての出前講座を行い、自分たちにできる健康づくりは何かを考える活動を行ってきました。

また平成28年度の小児生活習慣病予防健診(小学4年生対象)の結果では、約1割が肥満傾向・肝機能異常、約2割が脂質異常という結果だったため、メッセージチラシを作成し、健診結果返却時に配布しています。

今回は出前講座の内容について紹介します。この機会に皆さんも「健康」について考えてみましょう。

テーマ「これからの自分・家族の姿をイメージしよう」

「2025年問題」とは、団塊の世代が2025年ごろまでに後期高齢者(75歳以上)に達することで、介護・医療費などの社会保障費の急増が懸念される問題です。「今後10年間で予想される人口減少や超高齢社会などに対し、私たちはこの状況にどのように向き合えばよいのでしょうか」自分たちのできること(しなければならないこと)について、参加者と一緒に考えてみました。

自分や家族(大切な人)が「これからどうあってほしいか」



◆子どもに対して

- ・元気に育ってほしい。
- ・自分の夢に向かって頑張っているかな。
- ・自分を大切に、周りにいる人も大切にしてね。
- ・いつまでも元気でいてほしい。
- ・自分の事は自分でできていってほしい。
- ・認知症が進行せずに、元気で生きていてほしい。
- ・自分のやりたいことを見つけて楽しむことができるよう元気でいたい。
- ・妻にも健康で笑顔でいてほしい。

◆親に対して

◆自分に対して

「これまでの自分や家族(大切な人)に言ってあげたいこと」

◆子どもに対して

- ・規則正しい生活が大切だよ。
- ・目標をもって毎日コツコツ続けていたら、いい未来が待っているよ。
- ・お父さん、お酒はほどほどにしてね。
- ・健康でいると、かわいい孫がみられるので元気でいてね。
- ・認知症とどう向き合ったらよいか分からなかった。
- ・仕事ばかりで、自分の健康は後回しだったなあ。
- ・食生活に気を付けて運動もして、もう少し健康に気を付ければよかったかな。
- ・もっと肩の力を抜いて子育てや仕事をしたらいいよ。



◆親に対して

◆自分に対して

今が大変で、先のことが
考えられないという人へ
自分に合ったストレス解消法を
見つけよう！会話、入浴、
軽い運動、睡眠等

これまでの自分や家族(大切な人)・これからの自分や家族(大切な人)への思いやイメージを広げることで「私たちが今できること」「大切にしなければいけないこと」は何か? 参加者で話し合い、学ぶことができました。そのためにも「健康」は大切なことです。子どものために、大切な家族・人のために、自分のために、健康でいられるよう今日から生活習慣を見直しましょう。

